

製品にはそこに携わる人々の想いや意思が込められている。その意思を結集し、高い技術で磨き上げることで新たな製品が誕生する。

自社開発倉庫管理システム(WMS)

LOGI-CONDUCTOR

お客様とともに開発してきたから実現できた「現場の要望を反映したWMS」

WILL-1

WMSでお客様の物流DXを実現したい



【システム設計担当】 システム設計室 山田 哲哉

WMS「ロジ-コンダクター」の企画、立案、設計を担当

システム設計室ではWMS(倉庫管理システム)、デジタル仕分けシステム、デジタルピッキングシステム等、当社のシステム製品全般の企画、立案、設計を担当しています。

WMSにおいては、お客様の現状の運用状況やニーズなどのヒアリング、それをもとにした最適な導入計画の立案および導入後のアフターフォローまでプロデューサー的な役割を担っています。

物流改善 100年の実績

1924年の創業以来、保管システムメーカーとして100年にわたってさまざまなお客様の物流現場改善に取り組んできました。現場からの声を吸い上げて得たノウハウをもとに、現場を知り尽くした当社だからこそできる、現場での使い勝手を重視したWMSとすることを目指しました。

また当社ではWMSと連動可能な周辺機材・機器も豊富に取り揃えています。お客様のニーズや状況に合わせ、最適な周辺機材・機器との組み合わせのご提案も可能です。

素晴らしい案を互いに連携させ、良い演奏に導く指揮者(Conductor)のように、さまざまな機器と連携させることで最大の強みを発揮できるシステムとしました。

汎用性の高さを追求して導入しやすく

これまでのご依頼をいただいたお客様ごとに専用のWMSを開発していました。一から開発するため、お客様の環境や要望に100%合わせたシステムにすることができるといったメリットはありますが、その分開発費用がかかり、開発期間も長くなる面もありました。

そこで今までのWMS納入および運用のノウハウを最大限活用し、標準的な機能を厳選、搭載しパッケージ化したもの、それがロジ-コンダクターです。これにより一から開発するよりも短い納期、低コストで導入を実現できるようになり、お客様の物流DXを実現しやすくなりました。

WILL-2

現場の要望を形にするシステム作りをしたい

【開発担当】 柏技術センターシステム開発課 青野 功

現場の声を開発に活かすことが重要

システム開発課では当社システム製品全般のソフト面の開発が主な業務です。WMSの開発においては仕様決定、ソフト開発、テスト運用、動作チェックなどを担当しました。

当社のWMS「ロジ-コンダクター」は、長年のソフト開発のノウハウを結集した製品です。

WMSをはじめ、デジタル仕分けシステム、デジタルピッキングシステム、ピッキングカートシステムなど、今までさまざまなシステム製品を納入させていただいたお客様、とりわけ実際にそのシステムを使用する現場スタッフの方々の声をソフトに反映させる「現場の要望を形にした」WMSとなっています。

また、WMSソフトの管理画面や連動機器であるハンディの操作画面のレイアウトにおいても、過去のお客様の声をもとに使い勝手を考えながら、何度もトライアンドエラーを繰り返して開発しました。

今後は当社半自動化製品など、連動できる周辺機器のラインナップを増やし、よりお客様のニーズにお応えできるよう、引き続きお客様の声を開発に活かしながら、「ロジ-コンダクター」をより良いシステムに進化させていきたいと考えています。



連動周辺機器例



ハンディターミナル



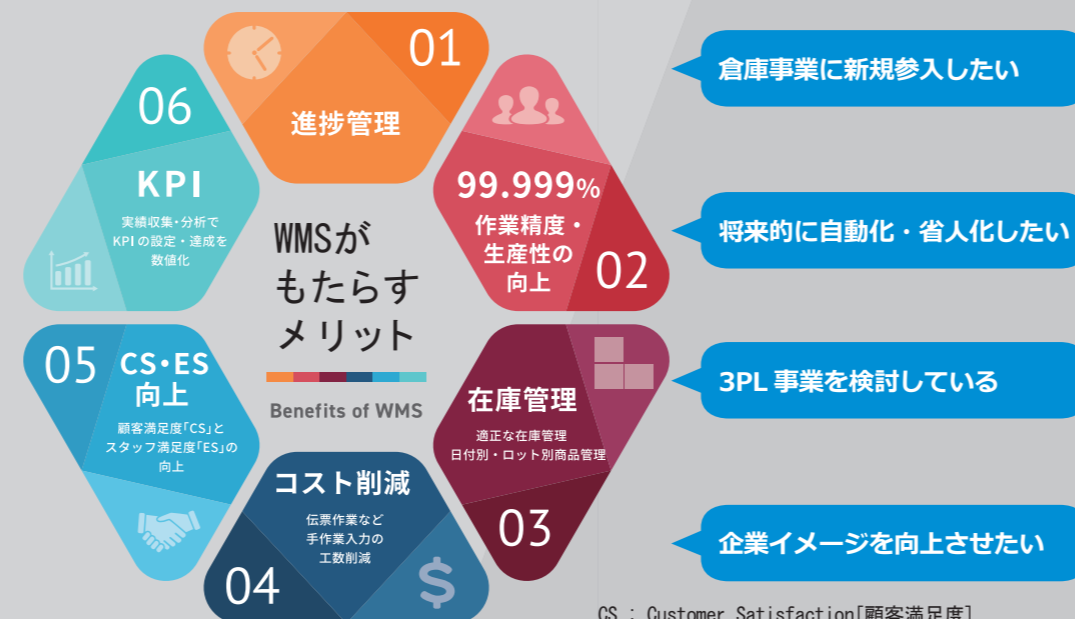
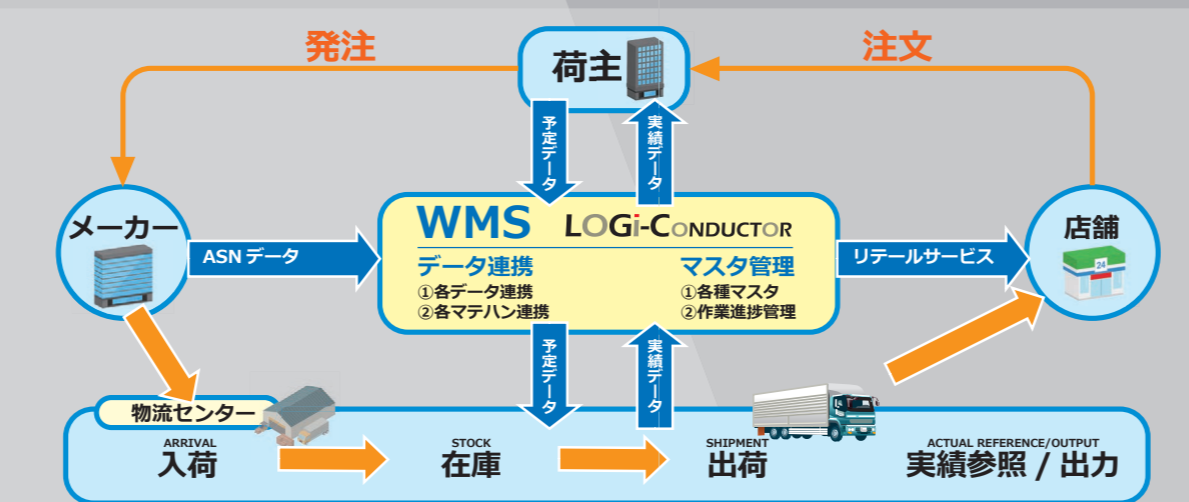
ラベルプリンター



ロジ-コンダクター管理画面

目的に応じて倉庫管理業務を最適化

WMSは入庫管理から在庫管理、物流実績管理まで、物流センターや倉庫内のさまざまな業務を効率的に行うための一元管理システムです。倉庫内の状況をリアルタイムで把握するとともに、業務上の課題を見える化することで、より高いサービスを提供することが可能です。



CS : Customer Satisfaction [顧客満足度]
ES : Employees Satisfaction [従業員満足度]
KPI : Key Performance Indicator [重要業績評価指標]

WILL-3

お客様それぞれの課題を解決できる最適な提案を意識

【販売担当】 札幌営業所 山田 将大



徹底的なヒアリングで課題を明確に

WMSの導入をご提案する際に大切なことは、まずお客様の業務内容、作業状況、環境を知ることです。形ある製品ではないため、一方的に機能を説明するだけでは、お客様にメリットをうまくイメージしていただけません。まずは倉庫内の「物流」を理解するため、徹底的なヒアリングを実施することでお客様の現状を分析し、課題を明確化します。その解決策としてWMSの導入を提案し、導入時の運用メリットを具体的にイメージしていただくことを心掛けています。

物流センターなどの物流現場では、お客様の業種や環境によりさまざまな課題を抱えています。例えば「作業精度を向上させたい」「過剰在庫や欠品などを減らしたい」「ベテラン従業員への負担の偏りを改善したい」などです。

場合によっては、ただWMSを導入するだけでは、これらの課題を解決できない時もあります。その際は、それぞれの課題に合わせた最適なマテハン機器を選定し、それを効率的に管理するWMSを併せて導入することも重要です。当社では、WMSと即連動可能な周辺マテハン機器のラインナップも充実しているため、お客様のさまざまなニーズに合わせた段階的な提案ができる点も大きな強みとなっています。